

職場体験記

Place-of-work experience note

頑張ります！



職場体験でやってきた
伊藤優作くん(高校2年生)

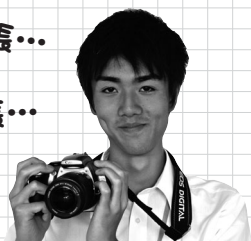
今回、職場体験で役場にやってきました檜山北高校2年生の伊藤優作です。私は2日間、総務課で広報の仕事を経験し、実際に広報の誌面づくりやホームページの更新などにチャレンジしました。どのようにして広報誌ができるのかなど、私が体験して感じたこととあわせてご紹介します。ちなみに、私のほかにも2年生は町内のいろいろな事業所にお世話になり、このような職場体験を行っています。

1

企画編集打ち合わせ

緊張...

緊張...



職場体験初日、緊張しながら役場に行くと、すぐに2日間お世話になる広報担当の尾野係長に「打ち合わせをしましょう」と言われ、同じく広報の児島さんと3人で会議室へ。そこで自分の職場体験を広報の誌面にすると聞かされ、そんなに重大なことをするなんて思ってもみなく、驚きと不安でいっぱいでした。広報誌を作るのに、毎月、役場の関係者が集まり編集会議を開いて掲載する記事の内容を決めるそうです。今回はまず広報の仕事について話を聞き、職場体験の記事をどのように掲載するかを打ち合わせしました。

2

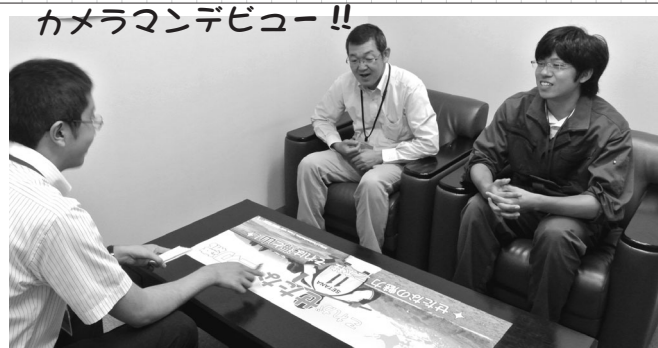
取材・撮影(1日目)



役場に来る前からせたな町の『まちづくり』について興味があったという話をしたのがきっかけで、なんと！初仕事は取材体験として、まちづくり担当お2人への取材となりました。質問したいことを紙にまとめて、いざ取材開始！最初は緊張しましたが、優しく受け答えしていただき、進むにつれ緊張もほぐれ聞きたかったこと以外にも深い話を聞けたので、とても充実した取材ができたと思います。

◀現在まちづくりで力を入れているのは『防災』と『コミュニティ』の繋がりを持たせるということでした。話をきいて、人と地域の繋がりを大切にして交流を深められたらと思います。

新しいポスターの取材に同行して カメラマンデビュー!!



▲今年の観光ポスターは、せたなの特徴でもある海と山の二刀流をPRするもので、プロ野球日本ハムファイターズの大谷選手をイメージしています。写真はモデルの産業振興課の吉田さん(左)とポスター制作の浜高さん(右)。

体験1日目があっという間に終了...

その後、児島さんが取材をするということだったのでその見学と写真撮影を担当しました。この写真は僕が撮りました。取材内容はせたな町の観光ポスターについてで、ポスターが札幌地下鉄などに貼られていることを初めて聞いてちょっと驚きました。これであっという間に職場体験の1日目が終了です。



あひいっしょットだ(´-`)

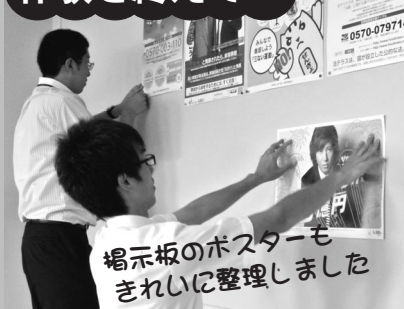


2日目、役場に来るとせたな町出身の元大関「大受」こと朝日山親方が町長室にいらっしゃっていると聞き、写真撮影をさせていただきました。親方はとても優しくそうな方で、新弟子検査や昔の相撲の話などを聞かせていただき、初めて聞く話に関心しました。また、新弟子検査の立会人をされているという親方に身長体重を聞かれ、体重が少し足りない自分に、「その程度ならすぐ増えるから大丈夫!」と相撲会へのお誘いもいただき、最後に記念写真も。こんな貴重な体験ができて嬉しかったです。

最後はこれまでの総まとめ『広報誌面作成』の体験です。初めて知りましたが、広報の編集作業は文書の入力やページのデザイン、画像の取り込みなどすべてパソコンで行っています。実際に作業してみて、一番苦労したのは開いて目にとまって読んでもらえるようなレイアウトを考えることでした。1ページ作成するだけでも大変です。それでも助けてもらいながら、なんとか最後に形にまですることができました。あとの仕上げは尾野係長にお任せです。



体験を終えて...



2日間、せたな町役場で職場体験をしてみて、役場のみなさんは町民から見えない部分でいろいろと支えてくれていることがわかりました。ホームページの更新や広報誌の作成もイメージと違い、いろいろと考えることが多かったり、手間がかかっていることがわかりました。実際、自分で作ってみて、あまりうまくできなくて時間もかかり、満足とはいきませんでしたが、こんな貴重な体験をさせてもらうことができてとても為になりました。自分が伝えたい情報の伝え方や、そのための工夫の大切さなど、今回学んだことは実際に社会に出たときの力なると思います。それらのことを今後の学校生活や社会生活にも活かしたいと思いました。

(檜山北高等学校2年 伊藤優作)